

令和元年11月定例教育委員会会議結果報告及び会議録（要点筆記）

日 時：令和元年11月20日（水）13：30～15：00

場 所：古賀市役所 第2庁舎 402会議室

出席委員：長谷川教育長 米倉議長 松本委員 大賀委員 木村委員 小山委員

欠席委員：なし

事務局：青谷教育部長 簗原教育総務課長 浦邊学校教育課長兼主任指導主事 桐原青少年育成課長 柴田文化課長 辻学校給食センター所長 教育総務課庶務係（松尾、松本）

傍聴者：0名

付議事項：

1. 開会
2. 教育長あいさつ
3. 諸報告
 - (1) 教育長報告
 - (2) 教育委員情報交流
 - ・置き勉について
 - (3) 教育委員会報告
 - ・市議会第4回定例会について
4. 議案

番 号	件 名	議決年月日	議決結果
第54号議案	平成31年度古賀市一般会計（教育予算）の補正について	R1. 11. 20	原案可決

5. 協議事項 なし
6. その他事項
 - (1) 各課（所属）等報告
 - (2) その他
7. 閉会

会議内容：以下のとおり

1. 開会
13時30分、議長が開会を宣言。
2. 教育長あいさつ
3. 諸報告
 - (1) 教育長報告
 - ・小野小学校でインフルエンザが流行している。
 - ・研究発表会、フェスタ等ご参加いただきありがとうございました。子どもの様子を見ていただければと思っている。
 - (2) 教育委員情報交流
米倉議長 教育委員情報交流のテーマは、置き勉についてです。

教育長 昔は置き勉をしない時代があったが、この頃は逆に置いて帰らせるようになっていきます。2年前くらいから特に小学校で話題となっています。私も古賀東中学校で勤務をしている時に、新聞記事でおじいちゃんが孫の様子を見て投稿されていた。孫が自転車通学でたくさんの荷物をかごに乗せたり、後ろに積んだりして通学している。あまりに荷物が多いためフラフラして危ないからどうにかならないかというものでした。東中学校は距離にかかわらず全員自転車通学が許可されますので、当時の生徒指導委員会に問題提起をして、平成25年度26年度の2年間をかけて、古賀東中では相当置いて帰っていいようにしております。中学校は教科担任制ということもあり、教科によっては資料集をおいて帰っていいということがあった。小学校はランドセルに全部持って帰って持ってくるということがありましたが、2年前くらいに、通学途上の事故の面、成長段階で重いものを背負って持たせることが良くないのではないかとということで、全国的に話題となりました。古賀市内でも可能な限り置いて帰っていいものを学校で精選し、机の中とか後ろの棚に置いて帰って、通学中に不審者にあっても走れる重さにしてはどうかということでしております。市内小学校で統一はしていないが、各学校長にまかせています。今後、学校の大規模改修などの時に、教室後ろの棚の容量をもう少し大きくできないだろうかと教育総務課にはお願いしている。予算の関係と教室の面積もありますから無理かもしれないが努力はしてみたいと思っています。置き勉については現在行っていますが、教育委員さん方のご意見を校長に伝えていきたいと考えています。

米倉委員 以前はすべて持って帰り、家で勉強できるような状態で宿題をして、翌日必要な時間割をして持ってくる状況でしたが、現在は社会状況や量的なものを考えて、置き勉、荷物を置いておいていいという形になってきております。ご意見等いただければと思います。

大賀委員 置き場所さえあれば、積極的に置いてきていいのではないかと思います。中学生は教科書を置いて帰っているようです。テスト前に大量な荷物を持って帰ってくる時はかなりの重さで、プラス部活の荷物を持ちます。ある程度は置いて帰った方が本人たちも楽なのではないかということと、小学校は先生の指導で持って帰らないと、自分の判断ではどれがいるものでどれがいらぬものか、帰ってきてからわからない状態になるので、指導してもらった方がいいと思います。中学生は自分で判断できると思います。

小山委員 学校から保護者へは置き勉について指導なり、話はしているのでしょうか。

大賀委員 学校で違うと思うが、学年により違うと思います。4年生のクラスは音楽とか図工は置いて帰ってくる時があります。小学校1年生は全部持って帰ってきます。中学生は全部置いてくるようです。そして、保護者が聞いているわけではなく、子どもへの指導がなっています。

教育長 古賀北中と古賀東中で校長をしておりましたが、年度初めに職員会議で決めて、プリントで出しておりました。小学校は学年判断になると思います。

松本委員 学年単位かクラス単位でお知らせがあると保護者も安心ですね。教科書が大きいし重いから、子どもに持って帰ってもいいし置いて帰ってもいいと担任の先生が指導してくださるといいと思います。

米倉委員 学級だより、学校だよりを出しているから、全体として持って帰っていいとか一部とか

の話は出ているのではないかと思います。

小山委員 校長会でも置き勉について話していたりするのですか。

教育長 2～3回はしています。情報交換もしています。中学校は昔からしているから、私は社会科だけ全部置いて帰るように言っていました。委員さんの意見として、年度初めにプリントなどでお知らせするというについては話したいと思います。宿題が出た教科書は持って帰るとかにすると、予習はどうするんだという意見もある。小学校1・2年生は判断できないから、きちんとしてあげないと、保護者も安心されますよね。

米倉委員 孫が小学生だが、置き勉になったから軽くなっていいだろうと言ったら、持って帰らせて予習をさせたりしているようです。自分で持って帰ることができる範囲を考えさせて行動させる学習になるとは思います。

木村委員 低学年は無理だと思います。これは持ち帰って、これは置いて帰るということは。普通に帰る用意をするだけで30分くらいかかります。持って帰らない教科があれば、家で保護者が時間割を確認する時にないとわからなくなる。そういう手間が低学年はかなりかかると思うので、低学年で置き勉をするなら、道徳科や生活科はすべて集めておくとしたらいい。どっちでもいいよ、ということは低学年には難しいかなと思います。

米倉委員 先生たちはどうなんでしょうか。置いて帰らせるのがいいのか。

松本委員 生活科や図工や音楽は置いておいた方が忘れないからいいと思います。

木村委員 国語や算数は忘れてこない。保管する場所があって、時間が始まる前に配った方がくならない。

米倉委員 教育長が最初に話しておられたように、何か問題があった時に重くて逃げられないということは問題。不必要なものを持って自転車でフラフラして危ないということも問題だと思います。

教育長 外国の話になりますが、フィンランドでは教科書は貸与です。だから学校に置いていて、個人の名前は書きません。教科書の改訂があるまではそれを使い、同じところに置いておきます。日本は個人に給付されます。福岡県独自のかがやきなどの副読本はそれに当たります。米倉委員が言われるように、保護者としては予習復習を小さい頃から習慣づけさせたいから学校の先生が置いて帰っていいと言っても持って帰りなさいという保護者もおられるかもしれないし、非常に難しいところではあります。図画工作や家庭科など毎日使わない教科は担任が集めて、教室のロッカーなどに置いておき授業の時に使うとかすれば、少しは軽くなると思います。不審者が多くなっていますから、何かあった時に走れるように100グラムでも200グラムでも軽い方がいいし、ランドセルをからっていることで後ろに転んでも頭を打たないということも日本のランドセルにはあるということが世界的に評価されていると本で読みました。置き勉については一斉にそろえる必要はないが、学年でしっかりとしておけば保護者の方のご理解もいただけるのではないかと思います。古賀市内の11小中学校は置き勉については前向きに考えて、各学校で軽減されていると思っています。

(3) 教育委員会報告

米倉議長 古賀市議会第4回定例会について、報告をお願いします。

教育部長 市議会第4回定例会の日程について報告させていただきます。議会日程は、議会運営委員会で決定されますが、初日は12月3日、一般質問は12月12日、13日、16日の3日間の予定でございます。教育部関係の提出議案は補正予算が1件でございます。

4. 議案

米倉議長 それでは議案審議に入ります。審議に入る前に審議の進め方ですが、今回審議する第54号議案平成31年度古賀市一般会計教育予算の補正については、市議会で審議される前の機関内部の協議に関する案件であることから非公開が適切と考えられます。会議は原則公開であるが、委員の発議により出席者の3分の2以上で決したときは非公開とすることができるように定められていますから、公開・非公開について委員の議決をお願いしたいと思います。

松本委員 第54号議案平成31年度古賀市一般会計教育予算の補正について、非公開とすることを発議します。

米倉議長 第54号議案平成31年度古賀市一般会計教育予算の補正について、非公開とすることの発議がありました。この発議については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項及び第8項の規定により可否の決定を行います。非公開とすることに賛成の委員は挙手をお願いします。

委員 (挙手全員)

米倉議長 挙手全員です。第54号議案については、公開しないことに決定します。

(第54号議案 原案可決)

5. 協議事項 なし

6. その他事項

(1) 各課(所属)報告

ア、教育部長 なし

イ、教育総務課 なし

ウ、学校教育課

- ・いじめ不登校状況について。児童生徒間のトラブルは指導が進む中で落ち着きを見せ、減ってきています。不登校児童生徒については継続して対応するとともに、現在不登校の新規発生を防ぐために子どもの基盤づくりについての調査研究を進めております。
- ・児童生徒の登下校にかかわる事件事故については掲載のとおりです。
- ・教職員の研修状況について。11月から英語力向上の研修が始まりました。小学校で62名の参加があり、教師への個別指導を行う形で市独自の研修として行っており、指導力改善と先生方が安心して準備が進められる状況に貢献するものと考えております。

- ・令和元年度教職員表彰について報告します。学校表彰として、福岡県学校保健優良学校特別優秀賞と福岡県医師会学校兼学校医模範校表彰を小野小学校が受賞しております。教職員表彰では福岡県公立学校優秀教職員表彰を古賀中学校井上主幹教諭、舞の里小学校安部教諭が受賞しております。また、福岡県公立学校教育マイスター表彰を古賀東中学校の今里教諭と秦教諭が受賞しております。学校保健功労者表彰を小野小学校佛坂養護教諭が昨年度に引き続き受賞しております。
- ・いのち輝くまちこが2019の分科会について報告いたします。今年度は育むをテーマとして、市、家庭、学校が一体となって、小学校から大人になるまで続けて子どもを育てていくことができるよう、在り方と考え方を深めていく会となるよう企画しております。分科会1では古賀中学校、地域ボランティアの林さん、古賀東中学校PTCAの青柳さんを発表者として、学校と地域の連携の在り方について協議する場を設定しております。分科会2では古賀西小学校、青柳小学校から、学校の特色を生かした取り組みを実践発表していただくこととしております。
- ・11月21日古賀西小学校研究発表会への出席をお願いいたします。

小山委員 不登校の数が30日以上ということですが、中学校で60名ということだがどういう状況なのでしょう。

学校教育課長 ほとんどの生徒が前年度からまたは小学校からの継続をしている状況で、学校に入ることにはできるようになっている生徒も増えているのですが、欠席日数としては30日を超えてしまうという状況です。小学校低学年から集団になじめず不登校になる状況を生み出さないことについて現在力を入れて調査研究をして、小学校とも話をしながら対応をしているところです。

小山委員 保護者との話はどのようにされていますか。

学校教育課長 保護者との連絡は、中学校では学級担任が家庭訪問等を空き時間や放課後等を使って進めています。小学校では適応促進補助員と管理職が学級担任と協力しながら連絡を途絶えさせないように進めています。

松本委員 不登校兆候にある子どもたちはどのような状態なのでしょう。学校に登校してきているのでしょうか。学校での過ごし方はどのようなになっているのでしょうか。

学校教育課長 各学校の適応指導教室で過ごしています。学校に入れないうちについては、あすなる教室へ通っています。ずっと家にいて閉じこもっている子は少ない状況です。学校を休む日もあるけれど、自分のペースで通っている児童生徒が多いです。

松本委員 不登校といっても学校には来れている児童生徒が多いということですね。

学校教育課長 完全な引きこもり状態の児童生徒は少ないです。

米倉委員 30日を超えたら不登校数に入るので、9月とか10月になって30日を超えて数に入るとのことですね。完全な引きこもりの状態は何人くらいですか。

学校教育課長 現在調査中です。

米倉委員 ほとんど来ていなくて話ができていない児童生徒がいれば気になります。

松本委員 先日他市町の取組について研修を受けてきたのですが、受け入れの対処の仕方子どもたちが復帰しているんですね。復帰できるような指導体制、環境を整える必要はあり

ますよね。

教育長

補足します。数字だけを見ると、一度30日を超えると不登校数の数字は増えていきます。例えば8月までに30日休んだけれども、夏休み明けは登校しているという子もいます。現在毎日来ていても数字は残ったままとなります。8月に出現率の速報値が出ているので、国の出現率と古賀市の出現率を来月報告してください。古賀市の適応指導教室は福岡県で最初に設置しています。室長と指導員2名、学生や臨時職員が授業や体験的活動を実施しています。毎年発表会もリーパスプラザこがで行っています。ここ数年で文科省の不登校の考え方が変わってきています。学校へ行くべきものという考えから学校に来られないなら別の場所に行けるような居場所を各自治体は作ってくださいということで、古賀市では米多比児童館、ししぶ児童センター、千鳥児童センター、ひだまり館である教室まで距離的なもの等があつて来られない時はそういう場へ行けば教員OBがいますので、市職員がきちんと対応するという確認さえとれば出校扱いになり勉強をできる範囲ですということを進めています。今後ICTが進んでいきますので、国がスタンスを変えています。学校に来れない子はICTを使ってやりとりをしながら学習支援をするという流れになってきています。民間の受け入れ施設に通っている子もいます。不登校の考え方がこの3～4年でかなり変わってきています。基本は楽しく来れる学校学級づくりがベストだが、どうしても家庭の事情や友達関係等で学校に来ることができないこともありますので、外部で活用できるものは公的なもの民間のものを活用していきましょうということです。古賀市でも復帰はかなりしていると思っています。学校の中でも教室に入れない子どもは保健室登校、別室登校ができます。そこで心の教室相談員が対応したり、小学校であれば主幹教諭や教頭が対応し、中学校では余裕時数のある先生が対応します。中学校では定期考査を別室で受けることができる状況です。

松本委員 あすなる教室の利用者が少ないのはなぜでしょうか。

学校教育課長 学校の適応指導教室で対応ができているということが多いです。

木村委員 先日の研修で町独自の不登校対策について部署間の連携を図式化したものがあつてわかりやすかった。古賀市の不登校対策が組織的に見れるものを作っていたらありがたいです。

米倉委員 学校教育課長よろしくお願ひします。

エ、生涯学習推進課（教育部長）

- ・ルーマニア柔道選手団の事前キャンプが11月23日から12月1日まで予定されています。12月23日24日に大阪でグランドスラム大会があり、ルーマニア柔道選手が出場され、その後、古賀市福津市に1週間のキャンプに来られます。選手、監督、コーチ含め25人が来られます。11月30日に古賀市福津市スポーツフェスタが開催されます。こちらにルーマニア柔道選手が参加され、オリンピックによるトークショーがあります。このスポーツフェスタのチラシは校長会を通じて子どもたちへ配布します。
- ・11月30日ルーマニアナショナルデーIN福岡県が福津市のぶどうの樹で開催され、

選手団が参加されます。

- ・ラグビーワールドカップで活躍された福岡選手が古賀市に来られます。11月22日に市役所に来られ、感謝状や記念品の贈呈を予定しています。その後、母校である青柳小学校と古賀東中学校にも来校予定となっております。

オ、文化課

- ・国史跡船原古墳について、先日のまつり古賀で出張歴史資料館ということで展示をさせていただきました。併せて勾玉づくりなどを開催し、100名以上の子どもたちが参加してくれました。アンケートも230通ほどご協力をいただいております。11月30日、船原古墳講演会を福岡大学桃崎先生をお招きして実施します。また、船原古墳に関連して、豪華な馬具と東アジアとの交流という書籍が発刊されます。12月5日から書店に並びます。広報でも紹介しております。
- ・市立図書館の移転開館25周年を迎え、図書館まつりを開催しました。図書館バックを作成し、ご購入いただけます。図書館まつり当日は作家の東山彰良さんをお招きしました。
- ・文化協会の催しとして、11月21日にランチタイムコンサートが公民館ホワイエで開催されます。
- ・12月4日から10日まで、糟屋地区美術展が市民体育館で開催されます。8年に1度古賀市で開催されます。

カ、青少年育成課

- ・第19回古賀市子どもわくわくフェスタを11月24日10時からリーパスプラザこが、市民体育館で開催します。
- ・令和元年度少年少女の主張作文表彰式及び作文発表会を12月21日10時からリーパスプラザこが多目的ホールで開催します。

キ、給食センター なし

(2) その他

教育総務課長 (行事予定表の説明)

庶務係長 (2月定例教育委員会の日程調整)

米倉議長 2月定例教育委員会は2月12日13時30分からとします。

7. 閉会

議長が閉会を宣言し、15時閉会した。